

## 英国 ISAの売れ筋ファンドとは？

後藤 浩

アライアンス・バーンスタイン未来総研 ディレクター



いよいよ少額投資非課税制度(以下「NISA」)の口座開設手続きが10月から始まる。口座開設の次は商品選定に関心に移ることが予想される。そこで、NISAのお手本となった英国ISA(Individual Savings Account)の売れ筋ファンドについて、英国投資信託協会(IMA)が発表しているデータから確認してみよう。

下表を見ると、2013年4月までの1年間、2012年3月までの1年間のいずれもストラテジック・ボンド(ポンド建て)、バランス型(株式20-60%)が上位を占めていることが分かる。

投資信託セクター	2012年4月-2013年3月までの純流入		2011年4月-2012年3月までの純流入	
	順位	金額	順位	金額
ストラテジック・ボンド(ポンド建て)	1	3.9億ポンド	2	4.3億ポンド
バランス型(株式20-60%)	2	3.6億ポンド	1	5.0億ポンド
グローバル高配当株式	3	2.2億ポンド	12	0.6億ポンド
新興国株式	4	2.0億ポンド	4	2.0億ポンド
アジア・パシフィック株式(除く日本)	5	1.7億ポンド	6	1.3億ポンド

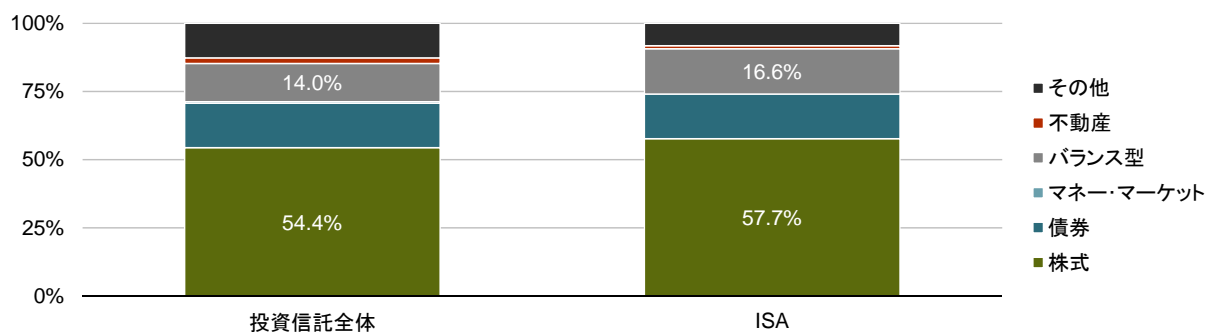
出所:英国投資信託協会(IMA)の資料に基づき、アライアンス・バーンスタイン株式会社が作成

ISAを含むリテール全体の投資信託販売(純流入)において、ストラテジック・ボンド(ポンド建て)は2012年(暦年)の1位、バランス型(株式20-60%)は2011年(同)の1位となっているので、少なくとも上位においてISAとリテール全体の売れ筋ファンドには違いがないようだ。

英国投資信託協会(IMA)の2011-2012年版アセット・マネジメント・サーベイによると、リテールの投資信託販売では、ストラテジック・ボンド(ポンド建て)は2011年頃から、その柔軟な運用アプローチによりそれまで人気で

あった英国社債に取って代わったようである。また、バランス型が株式20-60%、株式40-85%を中心に好調な販売を続けており、背景にはファンド・オブ・ファンズが近年人気を博していることが指摘されている(バランス型の約4割がファンド・オブ・ファンズ)。

最後に2013年5月時点の残高データで投資信託全体とISAの資産クラス別の割合を見てみよう(次頁)。大きくは変わらないが、投資信託全体に比べてISAは「その他」が少なく、「株式」と「バランス型」がやや多くなっている。



2013年5月現在  
出所: 英国投資信託協会 (IMA) の資料に基づき、アライアンス・バーンスタイン株式会社が作成

投資信託セクターの割合で投資信託全体\*とISAの差が大きいもの(上位、下位5セクター)を抜き出すと下表のとおりである。

ISAの相対的な傾向\*\*としては、株式は海外よりホーム・カンパニーが多く(英国高配当株式、英国株式)、債券は英国国債や(為替リスクのある)海外債券より本国通貨建てで追加の利回りまたはパフォーマンスが見込める

セクター(ストラテジック・ボンド(ポンド建て)、英国社債(ポンド建て))が多くなっている。バランス型(株式20-60%)もISAの方が多い。

\*リテール向けと機関投資家向けの合計

\*\*この傾向がISA投資家の特性を反映した結果なのかどうかは、このデータのみからは分からない

	投資信託全体(a)	ISA(b)	差(b)-(a)
英国高配当株式	8.4%	13.5%	5.1%
英国株式	15.8%	20.5%	4.7%
バランス型(株式20-60%)	5.0%	7.5%	2.5%
ストラテジック・ボンド(ポンド建て)	3.6%	5.5%	1.9%
英国社債(ポンド建て)	7.0%	8.1%	1.1%
グローバル債券	2.2%	0.7%	-1.5%
英国国債	1.9%	0.3%	-1.6%
アジア・パシフィック株式(除く日本)	3.6%	2.0%	-1.6%
北米株式	3.6%	1.4%	-2.2%
絶対収益-英国	4.0%	0.8%	-3.2%

出所: 英国投資信託協会 (IMA) の資料に基づき、アライアンス・バーンスタイン株式会社が作成

## アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号  
【加入協会】一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会  
<http://www.alliancebernstein.com>

### 当資料についての重要情報

当資料は、投資判断のご参考となる情報提供を目的としており、勧誘を目的としたものではありません。特定ファンドの取得をご希望の場合には当該ファンドの目論見書をご覧ください、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。下記の内容は、ファンドをお申込みされる際に、投資家の皆様にご確認いただきたい事項としてお知らせするものです。

#### ■ ファンドのリスクについて

アライアンス・バーンスタイン株式会社の設定・運用するファンドは株式・債券等の値動きのある金融商品等に投資します(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドが投資した資産の価値の減少を含むリスクは、ファンドの受益者に帰属します。リスクの要因については、各ファンドが投資する金融商品等により異なりますので、お申込みにあたっては、各ファンドの目論見書をご覧ください。

#### ■ お客様にご負担いただく費用: ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります

- 申込時に直接ご負担いただく費用: 申込み手数料 上限3.15%(税込み)です。
- 換金時に直接ご負担いただく費用: 信託財産留保金 上限0.5%です。
- 保有期間に間接的にご負担いただく費用: 信託報酬 上限1.974%(税込み)です。

その他費用: 上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的なファンドを想定しています。費用の料率につきましてはアライアンス・バーンスタイン株式会社が運用するすべてのファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。